

令和4年度 事務事業評価シート（１）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名		百舌鳥古墳群等管理事業			事業番号		008-094
担当部署名		文化観光	局	文化	部	世界遺産	課

I. 基本情報

事業の位置付け										
1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～		施策	(1) 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の継承と魅力の創出		
			有	取組の方向性	①百舌鳥古墳群の保全・継承とゲートウェイ機能の強化					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	大仙公園エリアへの来訪者数					
			有	現状値	29.4万人(2019年度)		目標値	60.0万人(2025年度)		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		ターゲット	11.4		
			有	取組	百舌鳥古墳群の保全					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画			堺市歴史的風致維持向上計画 国指定史跡百舌鳥古墳群保存管理計画 国史跡百舌鳥古墳群整備基本計画 (第1期)						
3	事業開始年度			令和 2 年度		点検年度		令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			文化財保護法						
事業の概要										
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)			本庁						
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)			市民・来訪者				対象数	単位	
								—	—	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)			本市が所有する古墳と史跡黒姫山古墳歴史の広場を適切に維持管理し、さらに整備・活用することによって、歴史文化都市としてのアイデンティティーを確立し、本市の魅力向上を図る。						
8	事業内容 (目的を達成するための手段)			・所管する古墳や史跡黒姫山古墳歴史の広場の除草・樹木剪定や修繕等、維持管理を行う ・国史跡百舌鳥古墳群整備基本計画に基づき、百舌鳥古墳群を整備する						
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など									
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載									
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)			委託業務の受注業者						
10	公民連携・協働事業									

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定							
11	定性的な成果目標						
	所管する古墳の適切な維持管理						
	当該目標を設定した理由		適切な維持管理を行うことにより、古墳の保存や来訪者への価値伝達を促進させるため。				
	目標に対する実績		所管する古墳10基を、損傷等なく、また住民からの苦情などがない状態で維持管理できた。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)		単位	実績		目標	
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			目標値	2	2	2	
			実績値	1	1		
			達成率	50%	50%		
当該指標を選定した理由		古墳の整備は歴史文化都市としての本市の魅力向上に寄与するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		整備基本計画の短期整備に位置付けられる古墳の数					

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	百舌鳥古墳群等管理事業	事業番号	008-094
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト						※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）	
	項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
	事業費（a）	0	23,491	33,698	31,978	87,264	
13	財 国支出金		2,824	5,549	5,023	31,582	
	源 府支出金					0	
	内 市債			3,100	3,200	27,000	
	記 その他（ 諸収入 ）		4			2,500	
	受益者負担金(使用料、手数料等)					0	
	一般財源		20,663	25,049	23,755	26,182	
14	人件費（b）	0	23,600	20,120	20,120	20,120	
15	年間経費(c)=(a)+(b)	0	47,091	53,818	52,098	107,384	

事業費の内訳										(単位：千円)							
16	事業費内訳	項 目		年度		事業費		うち 一般財源		項 目		年度		事業費		うち 一般財源	
		施設等修繕料（枠）		R3	決算	374	374	史跡標柱石設置工事		R3	決算	0	0				
				R4	予算	500	500			R4	予算	0	0				
		御廟表塚古墳整備業務委託料		R3	決算	7,401	561	御廟山古墳護岸改修工事		R3	決算	2,024	1,012				
				R4	予算	57,772	3,136			R4	予算	0	0				
		黒姫山古墳ガイダンス施設管理業務委託料		R3	決算	3,372	3,372	いたすけ古墳整備工事		R3	決算	2,475	2,475				
				R4	予算	3,662	3,662			R4	予算	0	0				
		百舌鳥古墳群保存活用計画策定業務委託料		R3	決算	0	0	黒姫山古墳ガイダンス施設維持管理等経費		R3	決算	1,078	1,078				
				R4	予算	7,892	3,946			R4	予算	2,218	2,218				
		所管古墳環境整備業務委託料		R3	決算	11,415	11,044	その他経費		R3	決算	3,839	3,839				
R4	予算			12,359	12,359	R4	予算			2,861	361						

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費					
17		区 分	単位	令和2年度	令和3年度
	①	所管する古墳の数	基	10	10
	②	上記①にかかる年間経費	千円	47,091	52,061
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	4,709,100	5,206,100
	備考（算出についての説明等）				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	令和3年度は、従来の古墳や施設等の維持管理業務に加えて、世界遺産にふさわしい古墳の管理を進めるために濠水の溢水対策や水質改善に関する工事等を行ったため、単位当たり経費が上昇した。 今後も世界遺産の構成資産としてふわわしい古墳として維持していくために、将来的なコスト低減につながることを意識しつつ、効果的な投資となるように計画的に維持管理を行っていく。
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	令和3年度は、所管する古墳について環境整備等を行うことにより、適切に維持管理できた。いたすけ古墳や長塚古墳等では墳丘の視認性が向上し、価値伝達の向上が図れた。 御廟山古墳の濠の余水吐け切下げ工事やいたすけ公園における井戸の設置により、所管する古墳の濠についても適切な維持管理の推進が行えた。 御廟表塚古墳では整備工事に向けた実施設計を実施し、整備に向けて着実に事業を進めることができた。 古墳の適切な維持管理と整備によって、KPIを達成し、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の継承と魅力の創出に寄与するものとする。